

# 令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	警察行政の推進(総括)				予算施策コード	ks01
担当部局名	警察本部	警務課	評価責任者	理事官 逢阪 良昭	連絡先	5300

## 1 施策の内容

施策の目標	県民のニーズの把握と情報の提供、警察行政の透明性の確保、業務の効率化等、円滑な警察行政の推進
これまでの取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民の代表者で構成される警察署協議会を、県下16警察署において概ね年3回開催するとともに、年1回の代表者会議を開催し、地域住民の意見・要望の把握に努めた。</li> <li>○県警ホームページに愛媛県警察の規程情報を掲載し、警察行政の透明化を図るとともに、警察行政に対する県民の理解と支持を得るよう努めた。</li> <li>○拾得物件の情報等をインターネットを利用して公表することにより、県民の利便性の向上を図った。</li> <li>○令和3年度は、新型コロナウイルスのまん延により活動が制限される中、音楽隊を自治体等の各種行事に23回(令和3年度実績)派遣し、年間約4,000人の集客を図ったほか、無観客の演奏会の模様をユーチューブで配信するなどし、効果的な警察広報活動を推進した。</li> <li>○基幹業務サーバ等により各種照会34業務を運用するとともに、端末や回線速度を適切に維持し、業務の省力化・効率化を図った。</li> </ul>

## 成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	警察署協議会における住民からの提言の警察行政への反映件数	B	県警ホームページへの総アクセス件数	
選択理由	警察行政の推進に当たっては、治安課題を地域住民と共有するとともに住民の目線に立った警察活動が必要であるため、提言の反映件数を指標とした。	選択理由	ホームページを通じた警察活動に関する情報の発信状況等を示す指標であるため。	
算定方法	警察署協議会における提言の警察行政への反映件数	算定方法	県警ホームページへの総アクセス件数	
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	
	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(ストック/フロー)	+

## 指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	件(年度)			千件(年度)			千円					
元年度	計画無	37	-	11,400	9,940	87.2%	322,965		24,544	298,421		155,864
2年度	計画無	35	-	11,400	8,457	74.2%	359,575		25,804	333,771	333,606	152,918
3年度	計画無	44	-	11,400	6,594	57.8%	353,738		28,368	325,370	329,434	143,990
4年度 目標値	計画無			11,400			435,168		29,499	405,669		
最終目標	-			-								

## 2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	警察行政を円滑に推進するための内部管理経費であり、全件にわたる事務であることから、県が関与すべき必要性は高く、妥当性が認められる。				
高い							
成果指標A		説明	警察署協議会における提言を警察行政に直接的に反映させ、住民と警察が一体となって地域の課題を解決し地域の安全確保を図っているほか、住民の意見・要望を聴取し、そのニーズを把握することにより警察運営の参考としたものも認められる。警察署協議会については、警察法、愛媛県警察署協議会条例等に規定されているところ、事業の性格上客観的且つ適正な目標値の設定は困難であるが、警察活動に対する住民の理解と協力を求める場としての取組など、安定的に評価できるものもあり、今後も各警察署による積極的な情報発信や警察署協議会各員による住民の意見の吸い上げ等により、数字に表し難い取組みはもとより、住民と一体となった警察活動の推進に成果が見込まれる。 なお、提言の警察行政への反映件数は住民からの提言があることを前提としており、その提言の件数は見込むことができないため、目標設定は困難であることから4年度目標値及び最終目標は設定しない。				
成果動向	順調・向上						
成果向上余地	成果向上が可能						
成果指標B		説明	令和3年度中の月平均アクセス件数は約55万件であり、昨年に比べ減少したものの、令和4年度の目標は引き続き月平均95万件×12か月の数値とした。今後も、県民のニーズ把握に努め、より関心の高い有益な情報発信に努めるとともに、ホームページをより見やすく、情報検索を容易にする構成にするなど利便性の向上に努めることで、ある程度の成果向上が見込まれる。 なお、県警ホームページへのアクセス件数は、県民への情報発信の度合いを示す指標としてより増加を目指すべきものであるが、最終目標の設定になじまないため設定しない。				
成果動向	順調でない						
成果向上余地	成果向上が可能						
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.04	順調・向上	成果向上余地	1.50	成果向上が可能	

今後予測される環境変化	<p>刑法犯認知件数は減少傾向にあるものの、ストーカー・DV事案、児童や高齢者虐待等の人身安全関連事案や振り込み詐欺をはじめとする特殊詐欺など、子供や高齢者が被害となる犯罪が多発しているほか、ネットワーク利用犯罪等、サイバー空間をめぐる脅威が一層高まっており、警察活動に対する県民のニーズの多様性や地域における連帯感の低下など、警察行政を取り巻く環境は厳しさを増している。また、コロナ禍において対面での広報活動、情報発信が制限される中、県民の日常生活の安心・安全を確保する取組の重要性は依然として高く、事件・事故による被害を防止するため、より一層効果的な広報活動、情報発信が求められる。</p>
-------------	---

## 3 施策の今後の方向性

<p>本件予算施策については、警察が取り組むべき「県民のための強い警察」を確立することにあり、そのためには幅広く県民の意見・要望を把握し、警察行政に反映させるとともに、警察行政の透明性の確保と警察活動への理解を得るための広報活動を強力に推進する必要がある。事業費については、法令に基づき必要とされている組織運営に関する経費や電算処理等の運用経費が大半を占めていることから、必要経費については現状維持としつつ、その他の経費については、効率的な運用等により、極力抑制に努めることとする。</p>
---

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

										予算施策名				ks01	警察行政の推進（総括）								
<b>1 公安委員会費</b>																							
			指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)		コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	4その他					
指標種類1	指標名称1			計画	298	311	306	281	-	事業費計	1,551	1,484	1,579	1,086	評価	公安委員会に対する報告件数については社会情勢等により変動するものであり、公安委員会開催回数は規則により定められており適切に開催された。							
成果	+	70-	公安委員会に対する積極的な報告件数	件	実績	335	266	242		国費				予算									
					達成率	112.42%	85.53%	79.08%		その他													
指標種類2	指標名称2			計画	32	32	32	32	-	県費	1,551	1,484	1,579	1,086						見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3		
活動	+	70-	公安委員会開催回数	回	実績	32	31	32		事業費計	1,020	496	414	決算									
					達成率	100.00%	96.88%	100.00%		国費									人役	0.6	0.6	0.6	
指標種類3	指標名称3			計画					-	その他				見直し方向性	公安委員会に対する報告件数については社会情勢等により変動するが、公安委員会に報告すべき案件は引き続き報告する。公安委員会開催回数は規則により定められているため規則に基づいて引き続き開催していく。								
実施期間	初期	S29	末期	-	事業の概要					人件費	4,084	4,060	3,630										
					警察管理運営の適正な推進を図るために国家公安委員会及び他の都道府県公安委員会と常に緊密な連絡を取るための経費及び毎月最低2回の定例会議、必要に応じての委員会の開催、警察運営上の諸問題の審議・協議の実施に要する経費																		
<b>2 交際費</b>																							
			指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)		コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり					
指標種類1	指標名称1			計画	2	2	1	1	-	事業費計	102	102	102	102	評価	成果を定量的に計ることは困難な事業であるが、警察に關係の深い方々への慶弔を警察本部を代表して示すことは、当然の社会的な儀礼であり、必要な範囲で執行することは、今後の警察行政運営上、有効に作用し継続した警察活動にも寄与する。							
成果	+	70-	慶弔関係支出件数	件	実績	1	1	2		国費				予算									
					達成率	50.00%	50.00%	200.00%		その他													
指標種類2	指標名称2			計画	計画無	計画無	計画無	計画無	-	県費	102	102	102	102						見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3		
活動	70-	各種会合の会費支出件数	件	実績	0	0	0		事業費計	2	2	3	決算										
				達成率	-	-	-		国費									人役	0.1	0.1	0.1		
指標種類3	指標名称3			計画					-	その他				見直し方向性	警察行政運営上、警察に關係の深い方々への慶弔を含んでおり、必要最小限の儀礼を行うためには本事業を継続する必要がある。								
実施期間	初期	S29	末期	-	事業の概要					人件費	681	677	605										
					警察行政運営に必要な外部との交際に関する経費																		
<b>3 警察署協議会活動費</b>																							
			指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)		コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり					
指標種類1	指標名称1			計画	計画無	計画無	計画無	計画無	-	事業費計	5,110	5,081	5,081	5,068	評価	住民からの意見・要望の警察行政への反映件数については社会情勢等により変動するものであり評価することは困難である。警察署協議会開催回数は会則により定められており適切に開催された。							
成果	70-	住民の意見・要望の警察行政への反映件数	件	実績	37	35	44		国費				予算										
				達成率	-	-	-		その他														
指標種類2	指標名称2			計画	48	48	48	48	-	県費	5,110	5,081	5,081	5,068						見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3		
活動	+	70-	警察署協議会開催回数	回	実績	48	47	48		事業費計	4,146	3,820	4,065	決算									
					達成率	100.00%	97.92%	100.00%		国費									人役	0.2	0.2	0.2	
指標種類3	指標名称3			計画					-	その他				見直し方向性	住民からの意見・要望の警察行政への反映件数については社会情勢等により変動するものであるが、意見・要望を受けた際には積極的に警察行政へと反映していき、警察署協議会の開催についても、定めに基づき引き続き適切に開催していく。								
実施期間	初期	H13	末期	-	事業の概要					人件費	1,362	1,354	1,210										
					警察署の活動に対する意見・要望を聴取することにより、住民のニーズを的確に把握し、それに応える活動の展開が可能となる。住民の意見を警察行政に反映させ、住民と警察とが一体となって地域の課題を解決し、地域の安全が確保できる。																		





8 人事管理システム運用費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい	
指標種類1	指標名称1			単位	計画	0	0	0	0	-	事業費計	6,222	6,100	7,619	61,211	評価	採用者管理、人事異動管理、退職管理等の人事業務の効率化、円滑化に大いに貢献している。システム障害発生件数は、近年0件で推移しており、データの出入力の件数に大きな変動はなく、成果向上の余地は小さい。		
成果	0	70-	システム障害発生件数	回	実績	0	0	0	0	0	国費	0	0	0	0				
					達成率	-	-	-	-	-	その他	0	0	0	0				
指標種類2	指標名称2			単位	計画	計画無	計画無	計画無	計画無	-	事業費計	6,222	6,100	7,619	61,211				
活動		70-	入力データ件数 (新規登録、人事評価)	件	実績	3,088	3,051	3,040			国費	0	0						
					達成率	-	-	-	-	-	その他	0	0						
指標種類3	指標名称3			単位	計画	計画無	計画無	計画無	計画無	-	事業費計	6,002	6,096	7,603					
活動		70-	出力データ件数 (辞令書)	件	実績	5,179	6,256	6,329			国費	0	0						
					達成率	-	-	-	-	-	その他	0	0						
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	1.6	1.6	1.6	見直し方向性	方向1 統合 方向2 方向3				
	H15	-	人事管理業務の効率的かつ正確な処理を実現し、業務の軽減を図るとともに、より充実した人事管理を行うため、職員の任用、異動、勤務成績等を有機的に結びつけ、的確な人事管理を行うためのシステムの運用に係る経費である。							人件費	10,890	10,826	9,680						

9 遺失拾得物管理業務システム運用費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
指標種類1	指標名称1			単位	計画	14	14	15	15	-	事業費計	4,543	5,223	6,152	6,152	評価	システム更新等に合わせ効果的なカスタマイズを行い、遺失者等の早期発見及び拾得物の早期返還に貢献し、拾得物の返還率は過去3年間計画値を達成している。しかし返還率はまだ15%程度あるため、一定の成果向上の余地が認められる。		
成果	+	70-	拾得物の遺失者への返還率	%	実績	14	16	15	15	0	国費								
					達成率	100.00%	114.29%	100.00%			その他								
指標種類2	指標名称2			単位	計画	計画無	計画無	計画無	計画無	-	事業費計	4,543	5,223	6,152	6,152				
活動		70-	拾得物届出件数	件	実績	123,609	104,034	105,437			国費								
					達成率	-	-	-	-	-	その他								
指標種類3	指標名称3			単位	計画	計画無	計画無	計画無	計画無	-	事業費計	4,542	5,213	6,151					
活動		70-	拾得物の遺失者への返還件数	件	実績	17,368	16,232	16,012			国費								
					達成率	-	-	-	-	-	その他	4,542	5,213	6,151					
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.4	0.4	0.4	見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3				
	H19	-	都道府県遺失物管理システムの運用管理を行うことで、警察庁システムとの連携、遺失拾得物に関する情報集約、全国的な通報、インターネット公表及びリアルタイムの照会・照合等を実現し、遺失者等の早期発見及び拾得物の早期返還を図る。							人件費	2,723	2,707	2,420						

10 庁用事務費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	4その他	
指標種類1	指標名称1			単位	計画	0	0	0	0	-	事業費計	46,685	46,394	47,773	51,735	評価	当年度を含む過去3年間において、警察活動に支障を来した件数は0であり、成果向上の余地は認められない。		
成果	0	70-	警察活動に支障を来した件数	件	実績	0	0	0	0	0	国費								
					達成率	-	-	-	-	-	その他	24,538	25,798	28,362	29,493				
指標種類2	指標名称2			単位	計画	36,000	36,000	36,000	36,000	-	事業費計	22,147	20,596	19,411	22,242				
活動	+	70-	消耗品等の配分数	点	実績	29,800	27,272	27,638			国費								
					達成率	82.78%	75.76%	76.77%			その他	30,636	29,499	31,886					
指標種類3	指標名称3			単位	計画					-	事業費計	39,796	36,071	37,444					
活動					実績						国費								
					達成率	-	-	-	-	-	その他	9,160	6,572	5,558					
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	8.0	7.7	9.6	見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3				
	S29	-	警察行政の円滑な推進を図るため、職員の知識・技能を向上させるとともに、警察運営に支障を来さない勤務環境を整備する。							人件費	54,448	52,099	58,080						

11 赴任旅費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	4その他	
指標種類1	指標名称1			単位	計画	100	100	100	100	-	事業費計	28,636	77,801	77,734	123,100	評価	条例に基づく旅費の支出であり、コスト改善の余地は認められない。また当年度を含む過去3年間において、異動に支障を来した件数は0であり、成果向上の余地は認められない。		
成果	+	70-	赴任旅費の支給率	%	実績	100	100	100	100	0	国費								
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%			その他								
指標種類2	指標名称2			単位	計画	0	0	0	0	-	事業費計	28,636	77,801	77,734	123,100				
成果	0	70-	異動に支障を来した件数	件	実績	0	0	0	0	0	国費								
					達成率	-	-	-	-	-	その他								
指標種類3	指標名称3			単位	計画					-	事業費計	28,624	67,951	69,989					
活動					実績						国費								
					達成率	-	-	-	-	-	その他	28,624	67,951	69,989					
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.2	0.4	0.4	見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3				
	S29	-	異動時期における警察行政の円滑な遂行を補助する。							人件費	1,362	2,707	2,420						

